三中校報

令和６年度　第１１号
大島町立三中学校
校長　松島　睦麿
令和７年３月２４日発行
電　話　04992(4)0183
ＦＡＸ　04992(4)1964
E－mail：06T000@izu-oshima.ed.jp

令和６年度の終わりにあたって

校長　松島睦麿

令和６年度も２５日で終了します。本年度も保護者の皆様、地域の皆様、教育関係者の皆様には言葉では言い尽くせないご理解とご協力を賜りました。心から厚く御礼申し上げます。３月１９日に卒業式が行われ、９名の卒業生が三中を飛び立ってゆきました。式辞で次のような逸話を紹介しました。卒業生へのはなむけの言葉ではありましたが、私たち大人にも勇気を与えてくれる逸話だと思っています。

一つの逸話を紹介します。立川(たてかわ)志らくさんです。
立川談志さんのお弟子さんで現在最も活躍している落語家さんの一人ですが、その志らくさんでもかつてその修行のなかで絶望的な行き詰まりに陥って苦しみぬいた時期があったそうです。生きている価値さえも見失っていたそうです。そんな時に、日本を代表する編集者として有名な嵐山光三郎さんに出会ったそうです。
志らくさんがその時の苦しさを告白すると、光三郎さんは相撲の星取表にかけて、こういったそうです。
「志らくさんよ、人生は八勝七敗で上等じゃねか。」志らくさんはこの一言で少し気が楽になり、絶望の底からもう一度やってみようとする勇気を得たそうです。
『人生は八勝七敗で上等じゃねか。』 簡単にいえば、人生は成功だけでなく、失敗もあり、五分五分くらいならすばらしいんだよ、ということでしょう。しかし、この言葉をもう少しほりさげてみると、とても深い意味がみつかります。つまり、一つ黒星がついたら、一つ課題が見つかったととらえ、そこから工夫や努力を重ねて一つの白星につなげる。その白星のあとにくる次の黒星は前の黒星とは全く意味が違って、一歩成長した自分に与えられた貴重な教訓です。土俵に立ったからこそ得られた貴重な黒星ともいえます。だから人はそこから次のあらたな白星を求めるのです。あせることはない。課題を一つ一つクリアしようと努力することが人生の素晴らしい姿なんだ、というメッセージが見えてきます。
別な言い方をしましょう。すなわち、黒星や白星そのものに意味を見出すのではなく、黒星と白星の間にある人の姿に価値を置くということでしょう。全勝の人生はあり得ませんし、失敗や成功は人を評価するものではないということです。人は黒星や白星の後の姿で評価されるべきだということでしょう。極限まで苦しんでいた志らくさんはこのメッセージに接し、肩から少し力を抜くことができて、前を向いて一歩踏み出したそうです。弱々しかったかもしれません、小さかったかもしれないけれど、それは新たな、そして、確かな一歩でした。
さて、志らくさんは最後に一つの疑問を光三郎さんになげかけました。
「素敵なメッセージです。でも光三郎さん、それなら七勝七敗じゃないですか。」
光三郎さんはいいました。
「何言ってんの。俺たちはな、奇蹟的にこの世に生まれることができた瞬間に永遠の白星一つ最初っからもってんだよ。だからよ、志らくさんよ、命は大切にしなよ。」
何よりも一番大切なメッセージが隠されていました。

皆様、この１年間、三中校報をお読みいただきありがとうございました。来年度も様々な形で本校の教育活動に関する情報を発信してまいります。今度ともどうぞよろしくお願いいたします。

第７７回卒業式　送辞

三中のグラウンドに大島桜が美しく咲き誇るこの良き日、花びらが枝を離れていくように、この学び舎を旅立つ三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年生はこの一年、学校の中心として、僕達を引っ張ってくれました。話しやすく、相談しやすい三年生の雰囲気に助けられることも多かったです。学校生活、特に行事や部活動では、僕達を支えてくれる心強い存在でした。

三年生との最後のテニスの試合、あと一点、相手にポイントを取られたら、負けてしまうという場面がありました。あきらめかけて「もう終わりだ」と言ってしまった僕に、力強く「まだ終わっていない」と声を掛け、背中を押してくれたことが今でも忘れられません。どんなに辛くても苦しくてもあきらめてはいけない、挑戦することの大切さをその時学びました。これからもその気持ちを大切にしていきたいです。

今年の運動会、僕は学年リーダーになりました。リーダーの仕事は忙しく、不安な思いも多くありました。そんな中、団長や副団長である三年生は、僕達後輩を優しく力強く支えてくれました。団会議の中でも積極的に意見を出して後輩を引っ張る三年生の姿を見て、僕もいつかこのような先輩になりたいと強く憧れました。運動会の男子棒体操では、三年生の先輩の二人が力強く引っ張ってくれました。練習中、なかなか技を成功させることが出来なかった僕に励ましの声をかけてくれた三年生の存在がとても心強かったです。当日は雨の影響で体育館での発表となりましたが、何度も何度も練習したおかげで、見事に大技を成功させることが出来ました。体育館中に響き渡る歓声や拍手と、演技中の掛け声が、今でも鮮明に記憶に残っています。女子のダンスでは、あいにくの天気で雨の中での実施でした。しかし、そんな雨にも負けないくらい女子全員が笑顔溢れる見事な演技でした。その完成度の高いダンスは、見た人全員をとても感動させました。

三年生は運動会に向けて夏休み前から取り組みを始めてくださいました。夏休みの補習期間、勉強で忙しい中、新しい競技についてルールを一から考えたり、民舞や応援合戦を含めた運動会の計画や準備をしてくれたりしている三年生の姿を見て、「三年生のために頑張って優勝したい」と思うようになりました。当日の結果に関わらず、大変な練習を乗り越えてきたことや、三年生の笑顔が見られたことが嬉しかったです。来年は、運動会が終わった時に皆が笑顔でいられるような、そんな運動会を僕達が創り上げていきます。

今年の文化祭では、三年生は臓器提供をテーマにした劇「さよならの向こう側」を演じました。臓器提供を受ける側、提供する側、その家族、医師など、それぞれの役割を見事に演じており、役になり切った姿にとても感動し、心震えました。劇を見ながら、改めて命の大切さに気付かされました。

また、僕達にとって何より大切な時間、それが昼休みの時間でした。先輩達との思い出を語る上で欠かすことのできない大切な時間です。体育館の開放日である火曜日と木曜日がくるのがいつも待ち遠しかったです。開放日の４時間目になる頃には楽しみすぎて、授業中にも関わらずそわそわしてしまい、勉強が頭の中に入らなくなってしまう程でした。

さらに、生徒会活動での新聞作成では、文字をペンで書くのが苦手だった僕に優しくその書き方を教えてくださいました。先輩達はいつも温かく支えてくださる一方、時に厳しく指導もしてくださいました。厳しく指導された時には、落ち込んだこともありましたが、今思うと僕のために言ってくれたのだと心から感謝しています。先輩たちと談笑し語り合う時間が僕にとってかけがえのない時間となりました。先輩達との思い出を糧にし、これまで以上によりよい学校にしていきます。

これから皆さんは、新しい環境で生活していくことになります。もしも、辛いことがあった時には、仲間と過ごした日々を思い出して、それぞれの輝く未来に羽ばたいてください。先輩達のご健康とますますのご活躍を心からお祈りし、送辞とさせていただきます。

令和七年三月十九日　在校生代表　細貝泰誠

第７８回卒業式　答辞

暖かい陽の光が降り注ぎ、桜の蕾も膨らみ始め、春の訪れを感じる今日、私たちは卒業の日を迎えました。私達のためにこのような温かな卒業式を挙行していただき、ありがとうございます。ご多忙の中ご出席くださいました御来賓の皆様、校長先生はじめとする先生方、保護者の皆様、在校生の皆さん、卒業生一同、心より御礼申し上げます。今思い返してみると、第三中学校で過ごした3年間は、思い出深くあっという間でした。私たちは新型コロナウイルスの感染拡大が続く2022年に入学しました。マスクで覆われているみんなの顔、黙食しながら食べる給食、不安でいっぱいだったことを覚えています。

入学して初めての大きな行事、運動会。毎日たくさんの練習をし、お互いにアドバイスをしあいながら、団結力を高めてい

ました。当時の3年生は、練習で疲れていても最後まで明るく面白く振る舞ってくれました。私はそんな3年生にあこがれを持ちました。そのため私たちが3年生になったらあの時の先輩たちのように、後輩を楽しませながら、協力できるそんなチームをつくりたいと思いました。いざ自分たちが3年生になったら、そう簡単に理想とする運動会を作り上げることは難しく、たくさんの準備が必要でした。結団式に向けて、夏休みから、民舞の練習や、学校種目の内容について計画を立ててきました。今年のスローガンは、「流星光底」でした。一瞬の間にきらめく光のように、瞬間、瞬間かがやく姿をみせられるように日々の練習に励んできました。ですが、私は、団長として、プレッシャーや、責任を感じてしまうこともありました。そんな時にはクラスの声掛けに支えられました。こんな私に最後までついてきてくれてありがとう。みんながついてきてくれたから楽しく思い出深い行事となりました。私が、頑張ってこられたのは、仲間の支えがあったからです。そして、私が何よりもうれしかったことは、「今年の運動会は楽しかった3年生ありがとう」と言ってくれた後輩たちがいたことです。解団式の時にも、1年生、2年生がそれぞれの思いを伝えてくれました。また「来年は僕たちも　3年生のように頑張ります」という気持ちを伝えてくれて、長い間頑張ってきてよかったと強く感じた日でした。

文化祭では、演技をする楽しさや配役にあった感情の理解や、その表現の仕方、クラスのみんなと協力して一つのものを作り上げていく楽しさを学びました。限られた練習時間の中で長いセリフを覚えることはとても大変でした。練習では不十分なところをカバーし合い、台本にはない表現方法を提案しながらより良い劇を作り上げていきました。今年は臓器提供をテーマとした　難しい劇を演じました。役の気持ちを理解して演じることが重要だと思いました。私たちなりにそれぞれの役の気持ちを話し合うなど、試行錯誤して臓器提供について伝わる劇に作り上げていきました。練習からクラスで、心を一つにしていたのでとてもやりがいを感じました。劇の練習以外にも臓器提供に関する知識を得たり、映像を見て実際に臓器提供について考えたり、話し合う時間も大切にしました。文化祭本番では、みんな緊張している様子が見られましたが、練習してきたどおりにうまく演じることができました。最後までやり切れたと感じ、みんなで達成感を共有できました。

3年生になると、今まで以上にリーダーシップを発揮し、責任をもつ立場になりました。初めてのリーダー決めは、なかなか手があがらず苦労したこともありました。しかし、たくさんの経験を重ねていくことによって私たちは自信がつきました。今では、委員会などで色々な意見を聞き、まとめられるようになったこと、部活のキャプテンとして優勝に導いたこと、多くのことを成し遂げてきました。大変なことも多くありましたが、仲間と助けあうことで今の私たちがあると思います。

仲間がいることで、私自身も、大きく変わりました。バレー部では、先輩が引退してから、私たちは4人で練習してきました。最初のころは声も出ないし、不貞腐れた態度を表に出してしまい、顧問の先生からもやる気を出しなさいとよく言われていました。そのたびに、仲間や、顧問の先生とケンカをしてしまいました。そのときにはミーティングを開いて、それぞれの気持ちを話し合いました。私は、相手の気持ちを知り涙を流しました。どんなにきつくて辛い練習でも、逃げずに正面から向かうこと。顧問の先生がよく私たちにおっしゃってくれた言葉です。この言葉に何度も励まされ、練習を頑張ることができました。やる気のなかった私たちはもうこのときにはいません。それからもミーティングを重ねてお互いの気持ちを共有していきました。そこからは、練習を頑張っているからこそ試合に出たいという気持ちがどんどん強くなっていきました。3年の最後の島嶼大会。私は試合に途中から出場することができました。そこでは、思うようにプレーできない私がいました。チームは優勝し、都大会に出場することができましたが、私の中ではもっと最初から練習を頑張っておけばよかったという後悔が残りました。ただ、それと同時に途中からでも、私たち4人で頑張ってきたこの時間は私にとって、とても大切な時間だったということも強く感じました。

在校生の皆さん今まで私たちを信じてついてきてくれて、本当にありがとうございました。皆さんと過ごした日々も私たちにとってかけがえのない思い出です。1年後に卒業していく2年生、卒業なんてまだまだ先だと思っている1年生。中学校での3年間はあっという間です。きっと皆さんも卒業するころにそう感じると思います。勉強や部活動、友達と過ごす時間を大切にし、1日1日を過ごしてください。保護者の方や地域の方々、そして先生方や友達が見守ってくださいます。そのことに感謝をし、沢山の人に応援される3中生でいてください。1年生は、先輩となり新入生の手本となります。自分たちが思っているよりも見られています。行動や、発言に責任を持てるよい先輩になってください。2年生は3中生のリーダーとなります。人前に立ち緊張する場面も多くなると思います。何事にもめりはりをつけて自信をもって取り組んでください。私たち3年生は応援しています。

そして3年生のみんな、小学校1年生からの9年間ずっと一緒に過ごしてきました。私が思うクラスのいいところは、お互いの気持ちが分かり合えること、どんなことにも最後まで責任をもって取り組むところ。お互いに協力しあい、仲間思いなところ。みんなと生活している日々が今日で最後と考えると寂しいです。私たちにとって、この9年間はかけがえのない時間です。私は、この9人で過ごせて幸せでした。今日までの9年間本当にありがとう。

最後になりましたが、これまで私たちを温かく見守ってくださった地域の皆さま、時には厳しく私たちを導いてくださった先生方、本当にありがとうございました。そしてこれまで大きく育ててくださったお父さん、お母さん。私たちは、素直になれず、私たちのためを思ってかけてくれた言葉も、なかなか受け入れることができませんでした。特に3年生になってからは、進路を決めなくてはいけないプレッシャーから、反抗してしまうこともありました。それでもどんな時も私たちを励まし、応援してくれること

が本当に嬉しかったです。普段は恥ずかしくていえないけれど、心の中でいつも感謝しています。ありがとうございます。中学校を卒業してもまだまだ迷惑をかけることもあると思いますが、これからもよろしくお願いします。

これから私たちは、それぞれの進路に向かって歩んでいきます。この先つらくて大変なことが　あってもこの第三中学校で学んだことを思い出し、どんな困難も乗り越えていきます。今日まで本当にありがとうございました。第三中学校のますますのご活躍を祈念して、答辞とさせていただきます。

令和7年3月19日　卒業生代表　高橋なつめ

校外学習（3年生）

3月 12日（水）、第3学年で校外学習を計画しました。当日は残念ながら悪天候となり、海のふるさと村へ向かうことができませんでした。そのため、校内でバドミントンやバレーボール、モルックをしました。午後には、映画鑑賞をするなど校内で活動することとなりました。昼食は、家庭科室で各班のオリジナルカレーライス作りをしました。ご飯は炊飯器ではなく、鍋で炊くことにも挑戦し充実感をもって調理をすることができました。

校内での活動でしたが、9名で協力しながら楽しむことができる1日となりました。のんびりと流れる時間となり、いつまでもこの時間が続けば良いなと思ったのも束の間、楽しい時間はあっという間でした。

卒業を前にこのように楽しい時間を過ごせたのも、様々な人の支えがあってのことです。保護者の皆様をはじめ、これまで関わってくださったすべての方に感謝いたします。ありがとうございました。

球技大会

3月5日に全学年合同で球技大会が行われました。卒業する3年生と一緒に楽しい思い出をつくろうと学級委員が企画をしてきました。月に１度のペースで昼休みに全校レクを行い、球技大会に向けて準備を進めてきました。全員でボッチャ、バレーボール、バドミントンを行いました。全員が3年生と一緒にスポーツを楽しむことができるのは、これが最後の機会となりました。３年生の頼もしい姿や笑顔に触れ、残り僅かとなった卒業までの日々を、在校生も含めより一層大切にしてほしいと感じました。

三年生を送る会

３月６日（木）に、三年生を送る会が行われました。１・２年生はこの日に向けて、「うれしい楽しい三送会　感動感謝を伝える会　みんなで一つになりたいかい？」というスローガンを設定し、３年生に感謝の気持ちを伝えるために、全員で準備を進めてきました。

当日は、生徒会本部役員が考えた、３年生一人一人の良いところの紹介とともに３年生が入場しました。レク係の「私は誰でしょうクイズ」や、記念品係からのプレゼント（波浮港がモチーフのイラストを描いたトートバッグ）、そして３年生からはクイズやダンスの出し物がありました。会場係は、写真映えを意識したポスターを作り、会場を華やかにしてくれました。最後には３年生の先生から、懐かしい写真を集めた動画のプレゼントがあり、涙を流す３年生の姿もありました。たくさん準備をしたことで、全校生徒で楽しい思い出を共有できる、三中らしい温かい会になりました。３年生は、中学校での思い出を胸に、４月からの新生活を頑張ってほしいと思います。

４月行事予定

第三中学校は自力登下校を推奨しています

（令和7年3月24日現在）

日	曜	行　　事
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	春季休業日 終
6	日	
7	月	着任式　始業式　入学式
8	火	対面式
9	水	一斉計測
10	木	避難訓練　専門委員会
11	金	学校公開　保護者会全体会
12	土	
13	日	
14	月	生徒朝礼　認証式　議案書検討　専門委員会
15	火	
16	水	町教研（給食後下校）　腎臓検診１次
17	木	全国学力調査（3年）
18	金	激励会　学力テスト（全学年）
19	土	大島町体育祭野球・バレー大会（中学生の部）
20	日	予備日
21	月	開校記念日
22	火	小中合同職員紹介　ＰＴＡ委員総会
23	水	
24	木	生徒総会　腎臓検診2次　専門委員会
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	生徒朝礼
29	火	昭和の日
30	水	

着任式・始業式・入学式　４月７日（月）

令和７年度のスタートになります。新２・３年生は、先輩として新入生を迎え、新たな第三中学校のスタートです。６名の新１年生が入学予定です。新２年生８名、新３年生１３名の総勢２７名での船出の予定です。

保護者・地域の皆様、令和７年度も第三中学校をよろしくお願いします。

対面式　４月８日（火）５校時

新入生に対して、生徒会役員が中心となり、三中の授業や生徒会、部活動のことなど、中学校生活について詳しく紹介します。

新入生に１日でも早く中学校生活に慣れてもらい、一緒に充実した日々を過ごして欲しいと新２・３年生が準備を進めています。

４月１１日（金）

学校公開　１～５校時

第三中学校では令和７年度も保護者と地域と一体となって生徒の健全育成に努めてまいります。今年度最初の学校公開日です。地域の皆様も授業を是非ご覧ください。

保護者会全体会

年度初めの保護者会も行います。令和７年度の教育方針等についてご説明をします。保護者の皆様、参加をお願いします。

＜5月の予定＞

７日（水）　PTA 総会（書面開催）
８日（木）～１４日（水）　家庭訪問（１年）
１５日（木）　福祉訪問（2年）　校外学習（１年）
１５日（木）～１８日（日）　修学旅行（3年）
２４日（土）　小中合同引き取り訓練
２６日（月）　振替休業日
２８日（水）・２９日（木）　中間考査

三中 HP　http://www.town.oshima.tokyo.jp/site/oshimadaisan/
ホームページにカラー版を載せてあります。ぜひご覧ください。

～令和６年度 校内研修会 報告～

第三中学校では、地域の特色を活かした教育活動を目指し、令和３年度から教職員の校内研修に取り組んでおります。地域素材を学び、教育活動に取り入れることや、地域人材を取り入れることにも目を向け、様々な教育活動を行ってきました。また、今年度は朝学習の取り組みに力を入れ、基礎基本の徹底に向けて取り組んできました。引き続き、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

過去２年間で本校が校内研修の主題として設定した内容と、今年度実際に教科等で行った授業例をご紹介させていただきます。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。この場を借りて、改めて御礼申し上げます。

令和５年度 校内研修 主題

地域を活かした教育活動の充実

～地域人材（素材）の有効活用を通して～

令和６年度 校内研修 主題

朝学習の充実による学力の向上

～到達度を図る機会を増やして主体性を育む～

今年度の授業の様子

職業講演会（道徳）

大島でとれる魚の調理実習（家庭科）

火山や地層のジオパーク授業（理科）

消防の方による応急手当て

※裏面に地域人材や地域素材を活かした令和６年度の実践をまとめてあります。是非ご覧下さい。

実施時期	教科等	単元名等	関わっていただいた地域人材や取り入れた地域素材	授業の概要
5～7 月	美術	パッケージで魅力を伝える	大島の特産品など	大島の特産品の魅力を伝えるパッケージを制作する。
5 月	数学	多項式	沖の根道路	道路の道幅と長さの関係から文字の性質を使って面積を調べる学習を行った。
7 月	社会	関東地方の自然環境	大島の自然環境	関東地方の自然の一部として伊豆大島を説明。
9 月	美術	デッサン	大島の流木	大島の流木を使ってデッサンした。
夏休み	特別活動		原 郷平 さん（整体師）	部活動の時間帯に来ていただき、体のセルフケアについて講習をしてもらう。
10 月	道徳	職業講演会	寺田直子さん（Hav café）	職業について講演を行った。
10 月	美術	墨の世界～大島の風景～	筆島、トウシキ、地層大切断面の自然	大島の風景を水墨で表す。
11 月	保健体育（保健）	自然災害に備えて	大島で実際に起こった大規模な自然災害	大島の自然災害を取り上げて、実際の災害発生時の行動と備えについて考える。
11,12 月	理科	ジオパーク	山田三正先生	大島の地形について実地調査を行った。
1 月	保健体育（体育理論）	スポーツの多様性	大島の人たちがどのようにスポーツに関わっているか考える。	大島にいる様々な年代の人たちがどのようにスポーツに関わっているかを考えながら、スポーツへの多様な関わり方を知る。
1 月	社会	院政から武士の政権	赤門･為朝上陸の碑など	保元、平治の乱で源為朝が大島へ流罪になったこと。
2 月	音楽	大島の民謡	大島節	大島節の歴史・音楽・歌詞について知り、実際に歌ってもらいながら授業を行う。
2 月	家庭科	魚の調理	伊豆大島行業協同組合の皆様	漁協の方からメダイのさばき方と調理方法を学んだ。
2 月	保健体育	がんとその予防	清水忠典 医師	医師の方に講師として来ていただき、がんに関する授業で講義をしていただいた。
2, 3 月	保健体育（保健）	応急手当	消防本部の方々	心肺蘇生法の実習を練習用の AED や人形を用いて、専門家の話を聞きながら行う。
3 月	国語	方言学習	藤井伸「しまことば集」web サイト「伊豆大島観光ガイド」	資料や身近な人へのインタビューによって大島方言に関する調べ学習をする。